

♦No.66**♠** March – April 2013

日本語・**English** (汉语・Español・Português)

Helpful Information In 5 Languages For Living In Saitama-ken

やくだ げんご 埼玉県に住むために役立つ5言語による情報

はっこう ざいだんほうじん さいたまけんこくさいこうりゅうきょうかい 発行:財団法人 埼玉県国際交流協会

発行日: 2013年3月6日



◆ 主な内容 ◆

【P.1】 "Help"いよいよ最終号 ~11年間をふり返って~

がつ こよみ ぎょうじ しゅうかん
【P.2】3・4月の暦・行事や習慣あれこれ

【P.3】「外国人総合相談センター」への相談から

(1.0.) 「ハロス (1.0.) 「日本 (1.0.) 」」(1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 」」(1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 」」(1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 」)(1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 「日本 (1.0.) 」)(1.0.) 「日本 (1

【P.4】耳より情報、シリーズ(6)季節の健康対策「花粉症」



希望の春

♦ Contents **♦**

- [P. 1] Here's the Final Issue of "*Help*"
- [P. 2] Calendar, Events & Customs of Mar. & Apr.
- [P. 3] 'SIS' Question & Answer:
- Q.36) Children's Age When Coming to Japan and Their School Education

[Page 4] General Information & <Series> (6)

~Preparation for Health ~ "Pollen Allergy"

さいしゅうごう ねんかん "Help" いよいよ最終号 ~11年間をふり返って~

ねん がつ はっこう "Help" 第1号は、2002年5月に発行されました。この年に は、サッカーの「日韓ワールドカップ」がアジアで初めて開か しない あたら けんせつ

れ $(5/31 \sim 6/30)$ 、 さいたま市内に新しく建設された にまるまるに ねっせん く ひろ 「埼玉スタジアム 2002」でも熱戦が繰り広げられました。ま

た、この年の1月1日から、EU12か国で通貨が一斉に「ユー

□(€)」に変わりました。

皆さんは、その頃、どこで何をしていましたか。そして、現在 なんかん なに まま できごと へんか までの 11 年間に、何か大きな出来事や変化はありましたか。 にほん せかい よ かる あく ほんとう さまざま 日本や世界では、良いことも悪いことも含め、本当に様々なこ とがありました。例を挙げればきりがありませんが、2008年に ひがしにほんだいしんさい 起きた「リーマンショック」と 2011 年の「東日本大震災(3.11)」 とく しんこく できごと えいきょう う ざいにち なん は、特に深刻な出来事でしたね。その影響を受けて、在日の南へいにっけいしん。 米日系人(特にブラジル人)がたくさん帰国していきました。現在 さいたまけんざいじゅう がいこくじんとうろくしゃすう ねんまえ くらの埼玉県在住の外国人登録者数を 11年前と比べてみると、 5ゅうごくじん はいそう じん そうとうすう ふ 中国人は倍増、フィリピン人も相当数増えているにもかかわ じん ぶん ゃく にん いじょうげんしょう じん そうとうすう ふ

らず、ブラジル人は3分の1(約5000人)以上減少しています。 さくねんまつ とうけい けんない

ちなみに、昨年末の統計によれば、<u>県内には 149 か国、約 12</u> **変んにん がいこくせき ひと** す ねんひ やく にんぞう **万人の外国籍の人**が住んでいます (2002年比、約27000人増)。 まんにん がいこくせき ひと

がいこくじんそうごうそうだん さいたま そして、SIA の「外国人総合相談センター埼玉」(8言語対応、 ねんがつ にゅうかん ろうどう ほうりつ せいかつそうだん

にゅうかん ろうとう ほうりつ せいかつそうだん 入 管・労働・法律・生活相談など)は、2006年4月にスタート以来 7年になります。また、昨年<u>2012年7月</u>には新しい在留 しちょうそん がいこくじんとうろくせいど 管理制度が始まり、市町村での「外国人登録制度」が廃止され、 にゅうかん ざいりゅう はっこう

入管から「在留カード」が発行されることになりました。

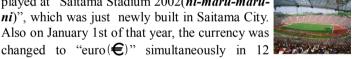
ことし がっ あたら たけんごじょうほうし ばん どうじょう 今年6月には、新しい多言語情報紙がカラー版で登場の いっつづ かつよう

予定です。ぜひ引き続きご活用ください!

Here's the Final Issue of "Help"

~ Let's Look Back on the Eleven Years of "Help"~

The first issue of "Help" was put out in May, 2002. In that year, "FIFA Korea-Japan World Cup" (May 31-June 30) was held, for the first time in Asia, and the exciting games were played at "Saitama Stadium 2002(ni-maru-maruni)", which was just newly built in Saitama City. Also on January 1st of that year, the currency was



countries of European Union. Dear readers, where were you and what were you doing back then? And during these eleven years, were there any big events or changes in your life? In Japan as well as in the world, there have been countless various events including good and bad ones. There is no end to those examples, but above all, "Lehman Crisis in 2008" and "the Great East Japan Earthquake (March 11th) in 2011" are thought to be the most serious incidents. They had a great influence on Japanese-South Americans living in Japan,

and especially many of Brazilians returned to their home country. Although the current number of registered Chinese residents in Saitama prefecture is almost double and that of Filipino is much bigger, the number of Brazilians is more than one third (about

5000 people) smaller, compared with that of 11 years ago. By the way, according to the statistics as of the end of last year, approximately 120 thousand foreign residents from 149 countries reside in Saitama prefecture (about 27 thousand has increase as compared with that of 2002).

"Saitama Information & Support" by SIA (providing immigration, labor, legal, or daily life consultation in 8 languages) started in April 2006, and now it is 7th year in service. Then, the new Immigration



Control Act was brought into effect in **July** 2012, which abolished "the Alien Registration System" managed by each municipal office and introduced the new system of "Resident Card" issued at the regional immigration bureau.

Our new multi-lingual information newsletters in full colors are planned to be issued from June this year. Please look forward to checking the new version, and we wish you to continue to make the most of them in the same way as before!